

放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）に参加して

大館市立総合病院 放射線科 木次谷 隆志

平成 25 年 4 月 21 日（日）に平成 25 年度「放射線（診療）業務従事者の教育訓練（講習会）」が神奈川県横浜市で開催されました。当日は生憎の雨模様の天候でしたが、会場に溢れんばかりの人の多さと参加された皆様のやる気に圧倒されっぱなしの一日となりました。

さて今回の講習会に私は初めて参加させて頂きましたが、その講義内容は放射線治療や核医学部門における品質管理、保守点検から法令、被ばく管理、リスクマネジメントといったものまで幅広く、非常に充実した内容でありました。その中でも特に印象に残ったことはチーム医療の大切さ、コミュニケーションをとることの重要性についてです。一人の患者様の周囲には私たち放射線技師のほかには医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務職など様々な職種 of 医療スタッフが関わっています。その中でより良い信頼関係を築くことが患者の利益となることだけでなく、私たち医療スタッフにとっても医療の質の向上に繋がるということを再確認することが出来ました。そして危険予知トレーニングやタッチアンドコールは誤判断、誤操作、誤作業を未然に防ぐために有効で、一人一人の意識づけが重要であると改めて感じました。

また、放射線治療を担当されている看護師の方の講義では、実際にあった皮膚炎、粘膜炎などの副作用の症例をその対処法とともに分かりやすく説明して頂きました。実際に患者様に副作用が起こったとき主に処置をするのは看護師ですが、私たち放射線技師の細やかな気配りや日々の観察力がとても大事だということで、ここでもチーム医療や接遇の大切さを強く感じました。また、PET 検査に従事されている看護師の方の講義では、検査専門施設の看護師の視点から貴重な講演をして頂きました。当院には PET 装置は導入されていませんが、患者様への接遇、対応や被ばく低減のための工夫などに関しては放射線治療や他の検査にも通ずるところがあり、大変参考になりました。このように看護師の方々のお話を聞く機会はなかなかありませんので、今回の講義は医療に携わる者として、またチーム医療を担う者として非常に有意義な内容でした。

さらに最近の話題として、昨年施行された改正放射線障害防止法において放射化物の取扱いに関する規制がなされましたが、今後の動向なども大変興味深く参考になりました。当院ではすでに放射化物規制に関して保管廃棄設備を設けて対応していますが、今のところ医療法については調整中ということであり、今後の動向次第では必要に応じて適切な対応をとらなければならないと感じました。

最後になりましたが、今回の講習会を開催して頂いた神奈川県放射線管理士部会の皆様方、並びに講師の皆様方に深く感謝申し上げます。今回の講習会で学んだことを今後の業務に生かして日々精進して参りたいと思います。